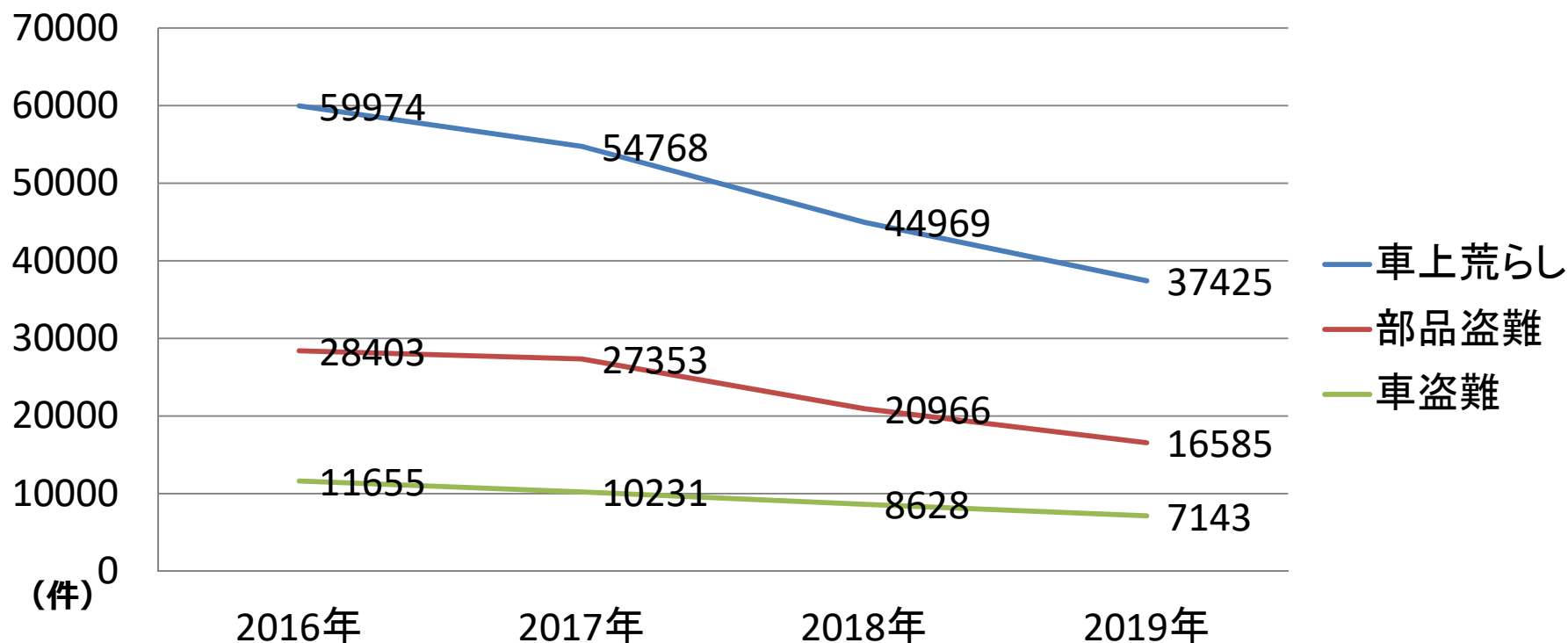


あなたの車も狙われている



日本の車上荒らし件数について



警視庁発行令和2年犯罪統計を基にグラフ作成 (https://www.npa.go.jp/toukei/keiji35/new_hanzai002.htm)

- 車本体のセキュリティー機能の向上やドライブレコーダーの普及、また監視カメラの設定等により、2016年以降車の盗難被害や車上荒らしが、年々減少傾向となっている。
- しかし、全国ではまだ多くの被害が発生しており、何らかの対策が必要である。（車体の盗難被害7,000件以上、車上荒らしなどを含めると合計で54,000件以上の被害が発生している）

車盗難・車上荒らしが多い都道府県

車本体の盗難発生地域割合トップ5

※保険支払対応件数

	2020年2月	2018年11月	2017年11月
1位	茨城県	大阪府	大阪府
2位	千葉県	茨城県	愛知県
3位	愛知県	愛知県	茨城県
4位	大阪府	埼玉県	埼玉県
5位	埼玉県	千葉県	千葉県

車上荒らし発生地域割合トップ5

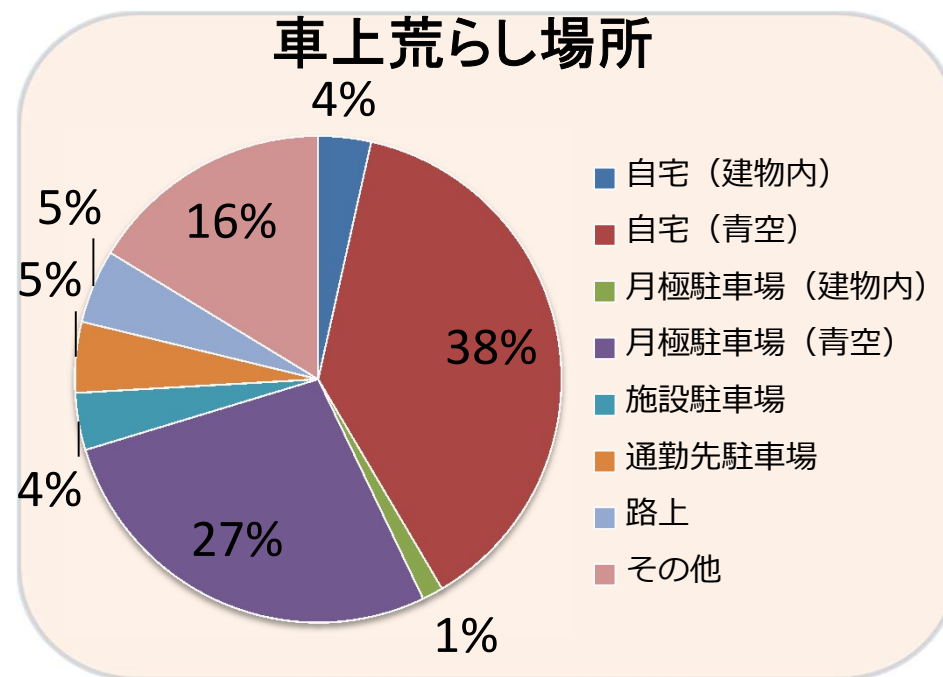
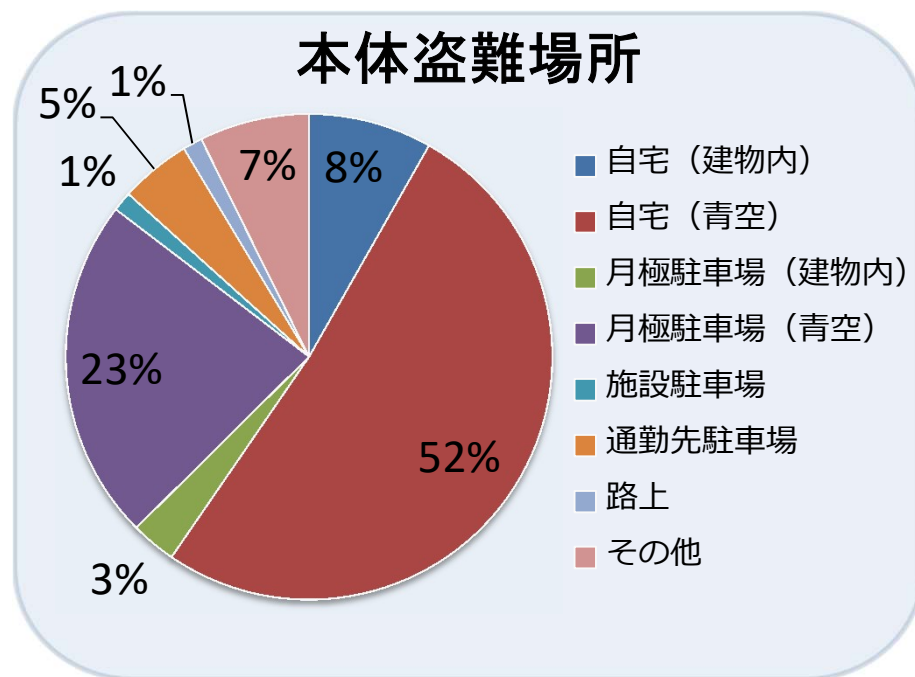
※保険支払対応件数

	2020年2月	2018年11月	2017年11月
1位	大阪府	大阪府	大阪府
2位	愛知県	愛知県	愛知県
3位	埼玉県	兵庫県	千葉県
4位	茨城県	千葉県	兵庫県
5位	兵庫県	埼玉県	奈良県

日本損害保険協会発行の第21回自動車盗難事故実態調査結果を基に表作成
(https://www.sonpo.or.jp/about/useful/jidoshatounan/pdf/news_20-04.pdf)

- 車体の盗難、車上荒らしのどちらにもランクインしている4地域には、「大きな幹線道路があり、国際的な港へのアクセスが良い」「工場や倉庫などが多い」といった、犯行後の処理を行いやすいという共通の特性がある。
- 茨城県は1日当たり約2台の車本体の盗難被害が発生しており、大阪では1日あたり約1件以上の車上荒らしが発生している。
- 盗難件数が多い車種は【ランドクルーザー・レクサス・プリウス】であり、耐久性が良く、海外での人気が高い車種が被害に合いやすい。
- 車上荒らしは【プリウス】が最も被害にあっている。利用者が多く、バッテリーなどのパーツが高値で売買されている為と考えられる。

日本の車犯罪の犯行場所について



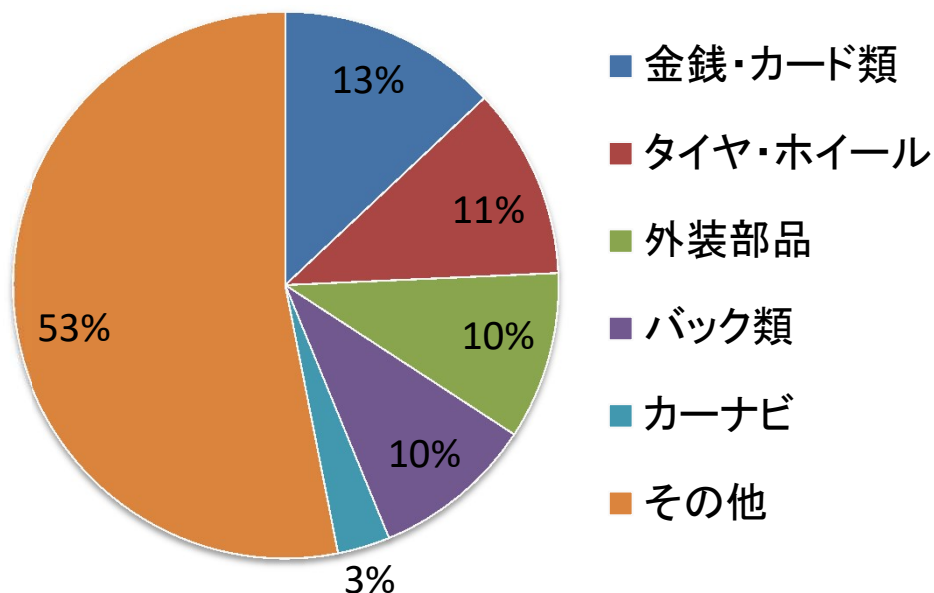
警視庁発行令和2年犯罪統計を基にグラフ作成 (https://www.npa.go.jp/toukei/keiji35/new_hanzai002.htm)

- 自宅や月極駐車場での盗難はどちらも、**全体の約70%以上が、青空駐車場に止めてある車**
- 理由としては長時間駐車している車両は狙われやすく、犯人が計画を立てやすい為だと思われる
- 自宅から比較的近い為、リレーアタックでの被害も増えやすい

※リレーアタックとは鍵から出ている電波を増幅して不正利用する方法

日本の車上荒らしについて

車上荒らし被害品



警視庁発行令和2年犯罪統計を基にグラフ作成 (https://www.npa.go.jp/toukei/keiji35/new_hanzai002.htm)

- 車上荒らしによる被害品の1位は金銭やカード類である。
- 上記以外にもETCカードや携帯電話など、高価な被害品も多い。
- 車内に価値があるものを置いておくとその物が盗まれるだけではなく、窓ガラスの破損など車にも損害が出てしまう。

盗難されたものは…

国内・海外に向けて販売

- 日本車の人気が高い海外にも不正に輸出し、販売を行う。

解体してパーツ販売

- 車を解体・分解を行いパーツだけを国内・海外に売却する。

盗難品で真正な車として販売

- 盗難品同士を組み合わせ、不正に登録を行い売却を行う。

別の犯罪に利用

- 所有者から利用者を割り出されない為に盗難車を利用する。

様々な対策方法

セキュリティー対応型駐車場



- 建物内にある駐車場を選択
- セキュリティー設備があるところを選択

防犯対策グッズの設置



- ハンドルロックやイモビライザーを設置
- 社内カメラ(ドライブレコーダー)を設置

鍵の運用方法



- 施錠の徹底
- リレーアタック対策の保管場所

駐車場内に監視カメラ等のセキュリティー対策を講じている駐車場を選択する事や、手軽な防犯グッズの設置、鍵の運用方法の見直し等、自身でも簡単に出来る防犯対策もある。

立体駐車場で出来る対策

建物の構造で出来る対策

①出入口の配置場所の工夫

⇒周辺の人通りを考慮して、入出庫が目立つような配置計画にすることで、犯人が心理的に盗難を実行しづらい配置計画を行う。

②外装を工夫

⇒メッシュフェンスを採用することで、外部からの視線を気にさせることや、反対に壁を高くすることで、犯人に車の有無や内部の状況を見えにくくさせることで、愛車を標的にされにくい計画を行う。

③照明配置で暗がり減らす

⇒駐車場が暗いと犯行がしやすくなる。通常よりも照明を増やすことで、暗がり無くし、駐車場を明るく安全な計画とする。

立体駐車場で出来る対策

設備を用いた対策方法

①監視カメラの設置

⇒設置することが抑止力になる。また、盗難事件が発生した場合も犯人の早期発見の手掛かりになる。

②ゲートなどの駐車場管制設備

⇒車を駐車場外に持ち出す為には、ゲートを通過する必要がある。ゲートなどを設けることで犯行抑止に繋がる。

③カーエレベーターの設置

⇒2階以上には自由に出入りできない為、内部の状況が判らず、実行するのも困難になる。

④防犯グッズの設置

⇒センサーライトや防犯シール、ダミーカメラなどを設置することで、抑止力になる。

北川鉄工所はお客様がご希望される
セキュリティをご提案させていただきます。
ぜひご相談ください。